

省エネ・創エネで循環型社会をめざす



おひさま 進歩エネルギー株式会社

COMPANY PROFILE

ムクナエネルギーは
必要なエネルギーを
つくります



社長より挨拶

私たちは、設立以来、持続可能な循環型社会を目指し、地元地域と密接に関わりながら一歩、二歩と歩んでまいりました。

具体的な事業活動は、エネルギーの「省」と「創」です。エスコ (Energy Service Company の略) に代表される省エネルギー事業。太陽の光と熱を活かしたエネルギーの創造。また南信州に豊富に存在する森林資源を利用した木質バイオマス、温泉や地下水等の自然の熱を活用するヒートポンプから幅広くエネルギーを取り出しています。

また、環境教育にも関心を持ち、教育関係者の皆様のご指導を仰ぎながらマスコットキャラクターさんぼちゃんと共に保育園、幼稚園での学習活動を行っています。未来の扉を開けるのはやはり「教育」であり「人」と考えるからです。

今後も、エネルギーの「省」と「創」を通して、真に豊かな社会の実現に向け、着実に一歩ずつ進んでまいります。



マスコットキャラクター
さんぼちゃん

代表取締役

原 亮弘
はら あきひろ

企業理念

私たちは、企業理念として、3つの S を実現します。

Sustainability

サステナビリティ

【持続可能】



Simple

シンプル

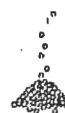
【質素・簡潔】



Stock

ストック

【蓄積】



「未来に向かって持続可能な活動をシンプルに行っていくこと。

ひとつ一つ、あるいはひとり一人の経験のストックからより多くを学ぼうとする勇気」

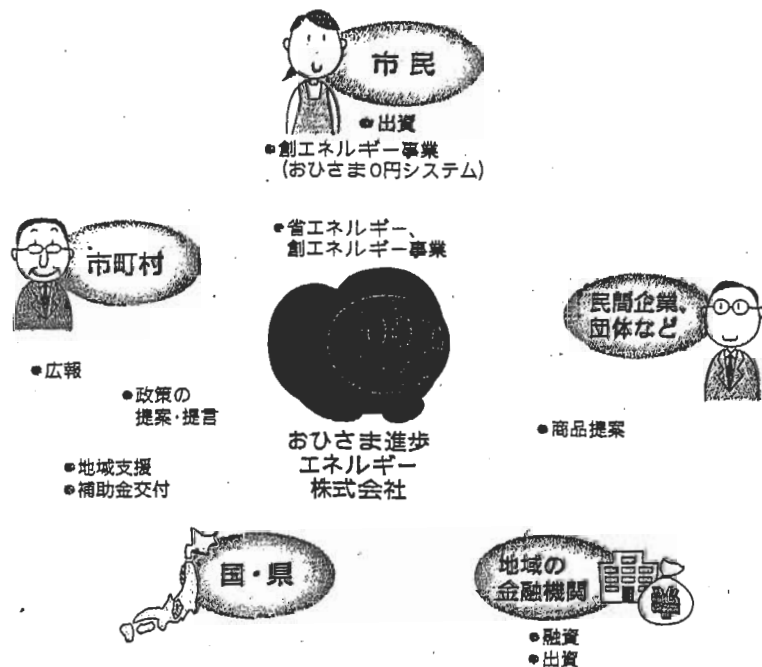


おひさま関連会社の取組みと「新しい公共」

長野県飯田市は1996年より環境文化都市を掲げ、2009年には内閣府より環境モデル都市に制定されました。当社は設立した当時から飯田市や民間業者と協働で、自然エネルギーの普及に取り組んでまいりました。

昨今、官民の役割分担の見直しが行われ、民間企業と個人と並んでNPOなどの民間セクターが重要な役割を担いつつあります。これからは市民・事業者・行政の協働で「公共」を実現していく「新しい公共」が一つのキーワードになっていきます。「新しい公共」のイメージは図のようになります。

[新しい公共のイメージ図]



当社沿革

- 2004年 12月 環境省に選定された飯田市の事業を担う民間企業として、「NPO法人南信州おひさま進歩」が母体となって「おひさま進歩エネルギー有限公司」を設立
- 2005年 5月 「南信州おひさまファンド」を募集し、太陽光の市民出資ファンドが初めて立ちあがる。のべ476名から満額の2億150万円の出資をいただき、無事募集を終了。38箇所太陽光パネルを幼稚園などの施設に発電容量合計208kW(量1000枚分)設置し、発電事業開始
- 2007年 6月 「南信州おひさまファンド」の第1回現金分配を計画どおり実施
- 2007年 11月 「おひさま進歩エネルギー有限公司」から「おひさまエネルギーファンド株式会社」となる新たに「おひさま進歩エネルギー株式会社」を設立
- 2008年 1月 NHK「クローズアップ現代」に取り上げられる
- 2008年 6月 大手スーパーが全国の店舗におひさま発電所のための募金箱を設置協力開始
- 2008年 12月 「おひさまエネルギーファンド株式会社」が「温暖化防止おひさまファンド」を募集し、653名から4億3430万円の出資をいただき、無事募集を終了
- 2009年 3月 環境省の3カ年事業を完了し、太陽光発電所が南信州地域を中心に計160ヶ所以上となる
- 2009年 3月 第7回「日本環境経営大賞」環境価値創造部門の大賞を受賞
- 2009年 4月 「NEDO」と「経済産業省」より新エネルギー等利用の優れた取り組みとして、「新エネ百選」に選定される
- 2009年 6月 NHK「SAVE THE FUTURE」～まもりびと大集合～に取り上げられる
- 2009年 12月 eco japan cup 2009のライフスタイル部門 市民が創る環境のまち「元氣大賞2009」にて「審査員応援賞」受賞
- 2010年 1月 初期投資の負担なく家庭に太陽光発電パネルを設置する「おひさま0円システム」募集開始
- 2010年 2月 信州イノベーション大賞「環境ビジネス賞」受賞
- 2011年 4月 NHK「サキどりア」に、おひさま0円システムなどが紹介される
- 2011年 10月 法政大学地域研究センター 第9回イノベティブ・ポリシー賞受賞決定



省エネルギー事業

CO₂

当社では、省エネルギー事業に総合的に取り組んでいます。お客さまのご要望に合わせて、マルチベンダーとして、お客様に最適かつ細やかなCO₂削減、コスト削減に努めてまいります。

[御社の取組]



CO₂削減にむけ、確実にステップアップできるよう、ご提案いたします。

CO₂削減にむけた
現状把握と
改善点の確認
第1ステップ

気軽に
CO₂削減に
貢献
第2ステップ

省エネ
トップランナー企業
実現にむけた
本格的な対応
第3ステップ

詳細をお知りになりたい方は、お気軽にお申し付けください。
(別途各資料をご用意しております。)



さんぼちゃんのこと

さんぼちゃんは、子供たちの人気者です。太陽(SUN)の恵みへの感謝と、「一歩、二歩、三歩と着実に未来に向かって歩いていく」という気持ちを込めて名付けられました。さんぼちゃんのみどりは南信州の山、あおは南信州の空気と水、そしてオレンジはさんさんと輝くおひさまの色を表しています。

CO₂削減モデル

“低炭素社会の実現に向けた脱温暖化2050プロジェクト”
 2050年までに日本のCO₂排出量、70%削減（1990年比）。
 当社は、最適なCO₂削減ソリューションをご提案いたします。

地球温暖化は、地球レベルの深刻な問題となっています。
 地球温暖化を防ぐために私たちができること… まずはCO₂の削減です。
 国立環境研究所が主体となって進めている、“低炭素社会の実現に向けた脱温暖化2050プロジェクト”。
 目標は、「2050年までに日本のCO₂排出量、70%削減（1990年比）」です。
 当社はお客様と一緒に、CO₂削減へ取り組んでまいります。

CO₂削減の3種類の方法

当社では、CO₂削減方法を以下の3パターンに分類しています。

省エネルギー

エスコ事業
 使用中のエネルギーを見直し、コストを削減（CO₂、光熱費等）



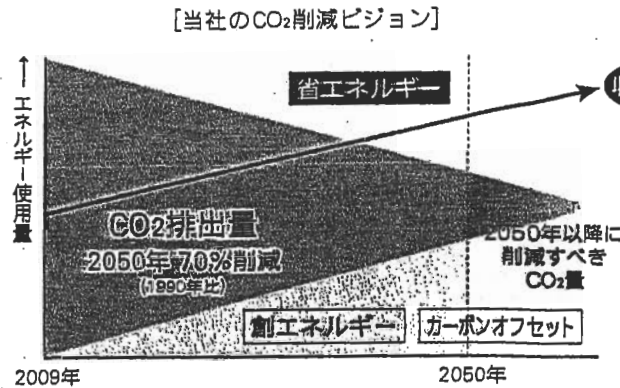
創エネルギー

CO₂を過度に排出しない自然エネルギー（太陽光発電システム、ペレットボイラー等）の導入支援の実施により、従来石油等で賄っていたCO₂排出を自然エネルギーへ変換し削減



カーボンオフセット

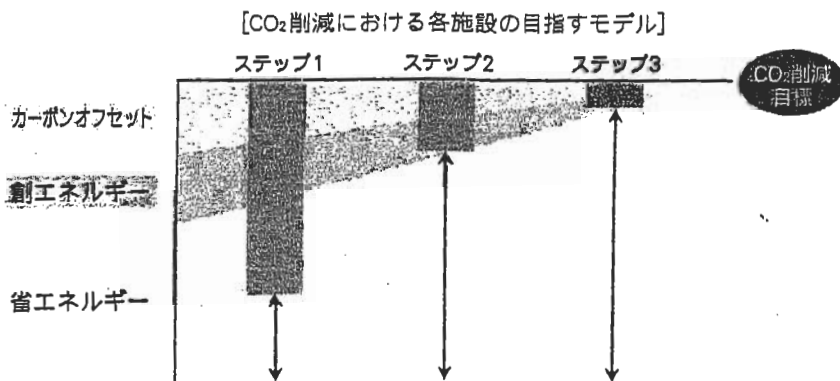
グリーン電力証書の販売やCO₂排出権取引等、上記2つでは削減不可能なCO₂利用分を、削減価値を購入することで、CO₂を削減（みなし/経済効果の創出）。



会社の収益を上げつつもCO₂を削減していく際に一番大切なことは、省エネルギーによる削減です。まず省エネルギーに取り組むことが、CO₂削減への第1歩になります。

CO₂削減の順序

CO₂削減をしていくステップとして、下図を参照ください。
 省エネルギー、創エネルギー、カーボンオフセットの順で、大幅なCO₂削減が可能です。
 各社の取組具合により、最適なCO₂削減ソリューションのご提供が可能です。





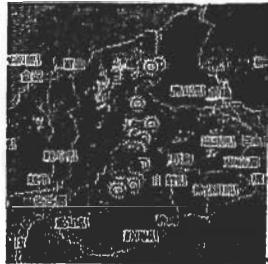
創エネルギー事業

太陽光発電事業

当社の太陽光発電事業は、まず当社の資金により太陽光発電設備を顧客の屋根等に設置し、発電した電気を顧客に購入いただくことで、資金を回収するシステムです。



3~20kW容量ほどの
太陽光発電の設置

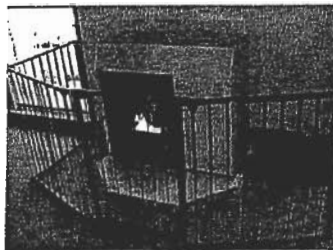


長野県 南信州地域

平成20年度までに160箇所以上の太陽光発電設置

グリーン熱供給事業

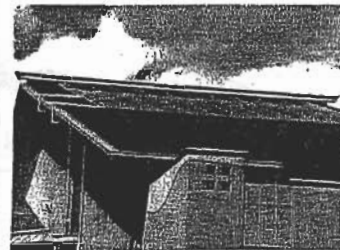
間伐材等を利用した薪、チップ、ペレットを燃料とするボイラー、太陽熱温水システム、木質ストーブ等の自然エネルギー利用設備を、事業所のエネルギー使用目的や特質に合わせて設計し、導入します。基本的には、メンテナンスと付加サービスを組み合わせた一括またはリースの形態で提供します。



ペレットストーブ



チップボイラー



太陽熱温水システム

カーボンオフセット事業



「グリーン電力(熱) 証書」システム

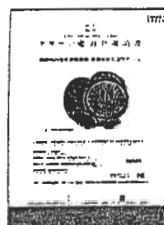
自然エネルギーによって発電された時に生まれる「環境付加価値」を、証書システムを利用して電力会社から供給される電気に加える仕掛けです。

これによってどなたでもお手軽に、どこでも太陽光や風力発電等の自然エネルギーから発電された「グリーン電力」をご利用いただける仕組みとなっています。

(同様にグリーン熱の証書システムもごさいます。)



お客様が
お使いの電気



グリーン電力証書

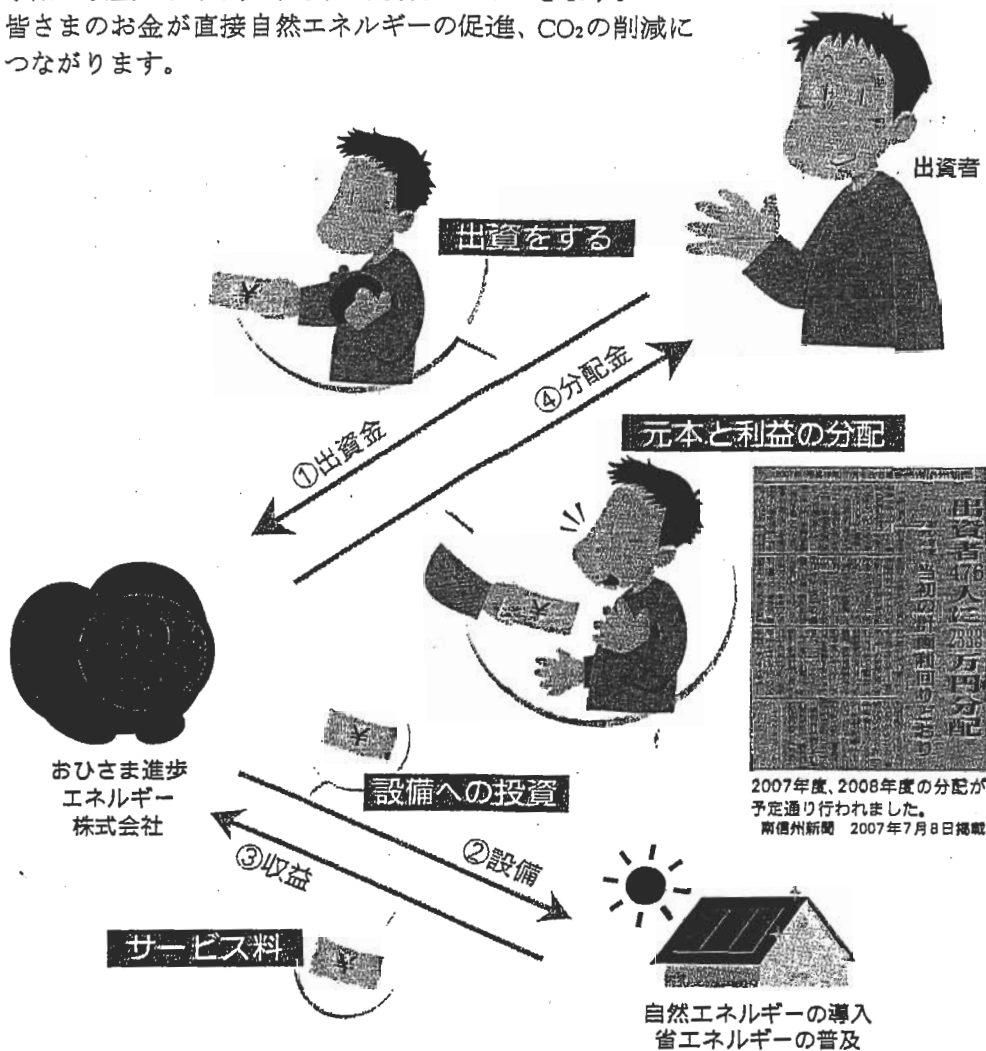


自然エネルギーによる
電気とみなせる

おひさま市民共同発電事業

おひさまファンドの仕組み

出資者はおひさまファンドに出資をしていただき、営業者はその出資金を取りまとめて対象事業に投資します。事業の収益により、元本と利益を分配していきます。皆さまのお金が直接自然エネルギーの促進、CO₂の削減につながります。



おひさまファンドの実績

当社は、全国で初めて太陽光発電装置のための市民ファンドを募集し、現在では160ヶ所以上の保育園・公民館・事業所などに太陽光発電を設置し、エネルギーの供給をしています。また、その他に省エネルギーの設備や、グリーン熱、風力発電の設備にも一部投資をしています。

◎南信州おひさまファンド

2005年2月～2005年5月、
1口10万円と50万円の募集。
476名から満額の2億1500万円の出資をいただく。
投資事業は省エネルギー、太陽光発電設備等。

◎温暖化防止おひさまファンド

2007年11月～2008年12月、
1口10万円と50万円の募集。
653名から4億3430万円の出資をいただく。
投資事業は省エネルギー、太陽光発電、
グリーン熱、風力発電設備等。